

## 「ビジョンを語る会」主な意見 加東市商工会青年部

実施日： 10月21日(水) 人数：13人

### (マンパワーをアジア、アフリカからの移民に求める)

予想される将来の人口減少の中で、今の産業を維持していくためには一定のマンパワーが必要で、アジアやアフリカからの移民が一つのポイントになる。そういった人たちを受け入れるために産業の整備、言語の問題が北播磨の課題になると思う。

### (商店街をIT技術で改革)

商店街の過疎化が深刻な状態になっている。高齢化のうえ後継者不足による廃業が多い。私の考える将来ビジョンは、インターネット、IT技術の導入による商品の販売と宅配サービスの充実だ。また、商店街の入り口に大きなタッチパネル式の案内板を設置し、簡単に店舗検索をして迷わずその店に買いに行ける「商品検索ができる商店街」を目指したい。

### (小さな工場の強みは人とのつながり)

自動車整備の仕事はお客さんと離れてはできない。直接会って話を進めていく仕事だ。小さな工場なのでディーラーにはない人情や人とのつながりを大切に商売をしようと考えている。こんな時代だからこそ今後も人とのつながりを大切にしていきたい。

### (北播磨は交通の便が悪い)

北播磨地区、特に加東市は交通の便が悪く車がないと不便。鉄道の駅が少なくバスの本数も少ない。電車やバスの便がよくなると町も活性化すると思う。また、空き地や荒れている田圃も目立つが、そういう場所も規制をゆるめ家を建てやすくすると人が増えて交通への需要が増え、バスや電車の本数も増えるのではないかな。

### (コロナ禍をチャンスとして移住促進を図る)

コロナ禍で都市部から田舎への移住が脚光を浴びている。交通インフラを充実させ、自然の豊かさ食べ物の美味しさなどの北播磨の魅力をアピールする絶好のチャンスだ。さらに子育て、教育、雇用、仕事環境のサポートを充実させ、若者世代の移住促進を図れば北播磨が活性化していく。

### (魅力的な所でないと人は住まない)

テレワークが進んで、どこに住んでもいいようになればなるほど、魅力的な所でないと人は住まなくなる。会社が魅力的でないとお客さんが来てくれないのと同じだ。

### (北播磨がフランスブルゴーニュを超える地域に)

この一帯は山田錦の特A地区であり、全国の酒蔵はこの辺りの田んぼを取り合いにしている。この地域をフランスのブルゴーニュを超える地域にしようと、酒蔵と地域が一体になって、日本の酒を世界に発信する活動をしている。しかし、実際はかなりの農家が赤字で、苦しみながら続けているというのが現状だ。高齢者から若者へのバトンをどうつないでいくのが課題である。

### **(人口減少に合わせた社会づくりのビジョンが必要)**

人口はここ 100 年ほどで増えているが、江戸時代や明治時代は今より少ない人口で社会が成り立っていた。その人口に合わせた社会づくりが大事。AI やロボットを使いながら労働力を補完していく必要がある。

### **(今の自然環境を守りたい)**

この地域の自然環境を大事にしたい。私は一時、都市部に出ていたが、こっちに帰ってきて良かったと思っている。人口減がそんなに悪いことではないと思うので、できるだけ30年後も今のままでいたいと思う。

### **(魅力ある地域、観光スポットで人を呼ぶ)**

自分の周りの人達を見ても、都市部で就職して地元に残っていないのが現状。地元の魅力ある企業があれば、若者が戻ってくるのではないか。加東市には有名なゴルフ場や武家屋敷もあるので、それが観光スポットになれば観光客を呼べて、北播磨地区にお金が落ちるのではないか。

### **(北播磨を一つのテーマパークに)**

北播磨各市町の特長を持ち寄り、スポーツ大会は小野、学習施設が充実しているのは三木、高齢者施設がたくさんあるのは多可、単身者でも遊べる場所があるのは西脇といったふうに、最終的には北播磨全体で一つのテーマパークのようになればいい。

### **(中途半端な田舎をアピール)**

加東市は良くも悪くも中途半端な田舎というイメージがある。大阪、神戸へ1時間で行けるけれど来たら何もないというイメージ。それを逆手にとって、中途半端な田舎をアピールする。大手の企業の誘致や医療体制の維持が、今後、田舎でやっていくには大事だと思う。

### **(地域が持つ個性を発信)**

地域も人間と同じで、皆が同じだと面白くない。この地域も神戸や姫路、明石みたいになろうと背伸びしてもだめだと思う。この地域にしかない個性、それが目立たない地味なものでも、外に発信していけば興味ある人はやってきてくれる。